

令和元年度 2学期終業式あいさつ

令和元年12月20日

ただいま各種大会・コンクールでの活躍を紹介した生徒の皆さん、受賞おめでとうございます。皆さんの健闘と努力に敬意を表します。大会結果を見て、3年生から1・2年生の皆さんに本高の伝統のバトンが確かに渡されていると感じました。来年度も新しい学年で今年の自分を超えられるよう、さらなる頑張りを期待します。

さて今日で長かった2学期も終わりです。平成から令和となった今年も残すところ11日となりました。2学期最終日に当たり少し話をします。

3年生の皆さんにとっては、2学期はこれからの進路を決める大事な時期でした。皆さんの中には就職や進学で合格し、内定をもらっている人もいます。その人達に話します。まずはおめでとう。しかし、ここがゴールではありません。これからは一人ひとり違う長い人生のスタートラインに立ったにすぎません。高校を卒業するとこれからは「ほぼ大人」としての立ち振る舞いが求められるはずです。残りの時間を無駄にせず、具体的な目標を持ち、これからの人生の旅路に備えてください。

受験に向かう多くの3年生に話します。センター試験まであと一ヶ月ほどとなり、いよいよ勝負の時期が近づいてきました。全国のライバルとの戦いですが、焦りや眠さ・不安など自分との戦いでもあります。私自身ついこの間まで受験期の苦しんだ夢を見てうなされてきました。それほど大学受験は人生の大きな位置を占めるものです。

人生では受験が人を成長させます。まだ皆さんにはわからないかもしれませんが、これからの長い人生ではもっと苦しいことが沢山あります。受験で悩んだ経験はそれを乗り越える力にもなります。今の苦しさは未来への貯金と考えてください。来年度から新しい入試制度が始まり安全志向が働く等様々な情報がありますが、そのようなものに惑わされず、自分の信念を貫いて欲しいと思います。

先日新聞にこのような話がありました「行ける大学を探す時間を、行きたい大学に合格するための勉強時間にあてなさい」後悔するような受験はすべきではありません。

家族はもちろん先生方、そして友達、後輩、学校挙げて皆さんを応援しています。自分の可能性を信じて最後まで頑張ってください。

1・2年生の皆さんにとってはこの2学期はどんな時期だったでしょうか。右文尚武は貫けたでしょうか。3年生に比べればまだ高校生活に時間はありますが2年、1年はあっという間です。自分は何のために本荘高校に入ったか、自分はここを巣立つ時どうありたいか、この冬休みにもう一度考えて欲しいと思います。

さて、この2学期、校内では大きな事故もなくほっとしていますが、国内外では大きな出来事が沢山ありました。特に印象深いことは台風が立て続けに発生し東日本に大きな被害をもたらしたことです。想定外の事態に大きな力となるのはボランティア活動であり、地元に住む人々の助け合いです。このような活動こそ、これからの少子高齢化を迎える時代に最も必要である事を強く感じました。

そのほか日本中に感動を与えてくれたのは、日本で開かれたラグビーワールドカップにおいて日本代表がベスト8に輝いたことがあります。合い言葉「ワンチーム」は、今年の流行語大賞にも輝きました。多くの場所で様々な使われ方をしていますが、心を一つにして困難に当たる場面でこれほどシンプルで力強い言葉はないと感じています。

沢山のニュースの中、私は国際的に大きな影響をもたらした二人の人物の言葉に心動かされました。

一人はアフガニスタンで人道支援を行っていた日本人医師中村哲さんです。30年も前から医療活動や用水路建設に関わりながら12月4日テロにより命を落としました。印象深い言葉に

「世界中の人々がとらわれている迷信。お金さえあれば幸せになれる。経済さえ発展すれば幸せになれる。武力さえあれば幸せになれる」

私達の今の生活、今の国際問題に大きな警鐘を鳴らしていると感じます。皆さんはどう思いますか。

もう一人はスウェーデンの16歳の高校生グレタ・トゥーンベリさんです。9月ニューヨークで開催された国連気候行動サミットや先日スペインのマドリードで行われた気候変動に関する会議COP25に参加し、今地球温暖化防止に世界が協力しなければ大変な未来を迎えることになるかと訴えました。「私達の未来を奪わないで」という言葉は、本気でこの問題を考えるべき時がきていると感じます。皆さんと同じ高校生が問題意識を持ち、実際に行動し、世界の多くの人々を立ち上がらせました。皆さんはどう思いますか。

これら二人の言葉に対し完璧な答えはないと思います。一人ひとりが自分の考えをもたなければなりません。大きな変革を迎えるこれからの時代を牽引していく若い皆さんには、目の前の自分の問題だけでなく、世の中の抱える様々な問題に目を向けて欲しいと思います。そしてそれに対して自分の考えを持てるよう、しっかり学んでください。

最後に、年末・年始はこの一年の自分自身を振り返り、来年の目標を立ててください。そして令和2年が飛躍の年になるよう準備をしてください。

皆さんにとって事故のない有意義な冬休みとなり、来年1月14日、全員元気で再会できることを願い、挨拶とします。